

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0573
施設名	鈴の音保育園
施設所在地	東京都青梅市大門3-4-5
法人名	鈴風会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本

<テーマの設定理由>

絵本『ふくろうのそめや』を読み、“染め”に興味を持った。
本『かんたん染めもの』を見て、実際にいろいろな材質を染めてみることにより、より変化や疑問を感じたり自ら気付くことにより関心が深まるようにする。

2. 活動スケジュール

1. 絵本『ふくろうのそめや』を読み、“染め”に興味を持つ
2. 障子紙を絵の具で染め、にじんでいく様子や色が混ざっていく変化を観察する
3. 身近にある花で和紙を染める（色水あそび）
4. 実際にバンダナをコーヒーで染める（絞り染め）
（豆乳で下地を作り、焼きミョウバンで焙煎等の知識を増やす）
5. 藍でハンカチを染める（市内の壺草苑での藍染体験）
藍の葉を使って本格的な染め物体験を行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

障子紙・絵の具・バンダナ・コーヒー・ビー玉・輪ゴム・豆乳・焼きミョウバン・ハンカチ（藍染体験）・体験料・バス代・絵本代 等

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

染め物の絵本から導入。身近なもので布を染める。染め液の匂いや色の変化、模様の工夫を楽しむ。そこから地域にある藍染め工房に行き、藍染めの色の変化の面白さを体験した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

コーヒーの染液を煮立たせていると「コーヒーのいいにおい」「家でもお父さんがのんでるよ」と興味津々。下処理をした（豆乳）バンダナを染液に入れると匂いに変化する。しばらくしてからミョウバンを入れると、さらに匂いが変わる。「くさーい!!」と鼻をつまむ子どもたち。煮出しを終え、絞りに使ったビー玉を取り出すと模様になっていることに気づき、「すごい!!形になっている」と驚きを見せる。

染色工房での藍染め体験では、地中に埋まった甕や藍の染液のプールに興味を示す。醗酵した藍の匂いは独特で、「くさいね」「へんなにおいだね」などと初めてかぐ匂いに反応していた。絞りの作業では、「ここに〇〇を漬けたい」とイメージを膨らませながら、輪ゴムで結わいている。黒い色の中に漬けて大丈夫か不安な様子であったが、水で注いだ時にきれいな青色に変わると「わぁ〜」と目を輝かせる子どもたちの表情が印象的であった。染める工程や、色の変化、道具を使った模様付けなど、普通の生活では経験することのない制作を楽しむことが出来た。

グループに分けて活動を行うことにより、色の変化や発見、自分の考え等を保育士や友だちと共有することができた。子どもたちが自由な発想のもと活動できるように、環境を整え、保育士は見本を見せるだけにし、子どもの主体性を見守った。スタートから終わりまで自分一人で行えるように工夫をした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本『ふくろうのそめや』から染め物に興味を持った子どもたち。『かんたん染めもの』の本を参考にして、ミョウバン（媒染剤）や豆乳（下処理）の役割を知り、実際にコーヒー染めに挑戦をした。絞りに染めの工程を経て出来上がったバンダナを身に付けて、親子で夕涼み会に参加。その後、市内にある染色工房で藍染め体験をして、さらに理解を深めることができた。子どもたちの色の変化に関する興味も広がったので、今後は絵の具を用いた混色にも着目できるような制作を行ってみたい。